



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：340千円

「ポスターに見る20世紀 1945-1990」展示イベント

目的・趣旨 図書館を広く情報にアクセスする場として活用した文化・芸術教育、および20周年記念事業アーカイブズチームによるアーカイブズ展示に向けた活動の一環として、本学に保管されるポスターコレクションの展示を行う。

日時・場所 令和3年10月1日～
静岡文化芸術大学 図書館・情報センター メディアステーション

体制 (実施代表者) デザイン学部 デザイン学科 教授 伊豆 裕一
デザイン学部 デザイン学科 教授 佐井 国夫
デザイン学部 デザイン学科 教授 迫 秀樹
文化政策学部 芸術文化学科 教授 谷川 真美
文化政策学部 国際文化学科 准教授 水谷 悟
図書館・情報センター 室長代理 井出 直樹

共催・後援等

内容

文化とデザインを学ぶ本学ならではの貴重なデザインコレクションを活用したアーカイブズ活動の一環として、デザイン学部の佐井教授の管理する名作ポスター”The 100 best posters from Europe and the United States 1945-1990”コレクションを展示。

今後も継続して全100枚からなる名作ポスターから毎回9枚を選び、テーマを変えながら定期的な展示換えを計画するなか、初回となる2021年10月からの展示ではコロナ禍の状況も踏まえ、ポリオのワクチン接種をテーマとした1950年の作品、麻薬撲滅を訴えた1970年の作品など社会問題をテーマとしたポスターをとりあげ、各ポスターデザインの背景となる社会状況等を解説するパンフレットを制作した。

結果・成果

収蔵図書の効果的・効率的な活用に加えて、広く外部の情報にアクセスするとともにグループ学習等によるアクティブラーニングの支援へと広がる、大学における図書館の役割の変化への対応を目的とした、メディアステーション改修の一環としてイベントを開催した。

そのため、メディアステーションにおける情報機器のリプレイス、および開学時に購入されて以来これまで学内の各所で個別に保管・活用されていた、歴史的に名の残る名作といわれる椅子のコレクションを一か所に集め自由に使えるようにしたインテリアの改修と合わせ、ポスター展示を行うことで文化とデザインを学ぶ本学ならではのアーカイブズを身近に感じることのできる環境の実現を目指した。

また、時代における社会の出来事や課題をビジュアルに表現した大衆芸術ともいえるポスターの理解に向け、各ポスターを解説したパンフレットを準備することで、デザインの変遷と合わせてその社会背景等も学べるようにした。

イベント開始後、メディアステーションでは情報機器の活用を目的とした従来からの利用に加えて、ゼミやグループワーク活動の場としての活用も見られるようになるなど、当初の目的を達成していると考えられる。